

「この人 89」

花岡直樹 57歳 愛媛県

編集部 滑稽俳句を始められたきっかけは？

花 岡 平成二十五年の四月、八木会長に誘われてCATV俳句に出演してからです。「俳句は詠んだことが無いですし、根っからの理系なので…」、とお断りしたのですが、「いやあ、その方が新鮮でいい句が作れます」と、そそのかされて始めました。

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

花 岡 考えていると脳がリフレッシュされるような気がします。物事を見る時、角度を変えたり裏側から見たり普段と違う脳の使い方をします。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

花 岡 〴〵あぶり出しのようなもの、でしょうか。あからさまに見えるのではなく、じんわりしみ出してくるような面白さを感じます。

編集部 滑稽俳句を続けていて良かった事は？

花 岡 俳句を始めて、「四季の移ろい」や「和の心」が少しわかってきたような気がします。滑稽俳句では、それに面白いスパイスをかけて、がぶりといいただくような感じがしています。

編集部 滑稽俳句を作るコツは何でしょうか。

花 岡 いつも頭をぐるぐる、そして肩の力を抜くことだと思います。

【代表句】

盆帰り元の二人に戻りけり
魚では唯一学歴あり目高
七五三主役は子どもいや晴れ着
だれじゃこれこの唄なんじゃ大晦日
ビール党年中飲もうと季語否決